

【10-2-1】 履修コースと履修モデル（経済学部経済学科）

経済学科では、自分の希望や進路に応じた系統的な学修ができるように、履修モデルとして以下の4つのコースを設けています。各コースは、次のような人材の育成を目的としています。

- A. 企業経済 ・ ・ 現代経済を理論的・実証的に分析できるビジネスパーソン
- B. 金融ファイナンス ・ ・ ファイナンスなどの実際的知識をもつ金融・財政のエキスパート
- C. グローバル経済 ・ ・ 国際感覚豊かで、グローバルに活躍するビジネスパーソン
- D. 公共政策 ・ ・ 各地域において政策立案し施行することができるエキスパート

A. 企業経済コース：現代経済を理論的・実証的に分析できるビジネスパーソン

複雑化する現代社会を見とおすために経済理論は有用な武器となります。経済理論はときに私たちの常識を覆すような新鮮なものの見方を与えてくれます。このコースはもっともオーソドックスな経済理論を修得し、その現実への応用を学ぶものです。また経済理論が現実をうまく説明しているかどうかを検証するために、コンピュータを利用し経済データを処理する方法も学びます。

このコースでは、経済に対する基本的な考え方を身につけ、さまざまなデータを駆使して、的確な判断力をもつビジネスパーソンを養成することを目的としています。公務員・資格試験科目で必要な経済理論を修得したい人、経済系大学院への進学を考えている人にも向いたコースです。

このコースでは、以下のような授業科目を中心に選択してください。

学科展開科目	統計学、経済数学、ミクロ経済学1・2、計量経済学、経済データ分析、政治経済学、現代経済学、産業組織論、企業経済論、労働経済学、現代日本経済史、日本経済論、経済英語、法学概論、民法、商法、会社法、企業研究1・2
学科関連科目	

B. 金融ファイナンスコース：ファイナンスなどの実際的知識をもつ金融・財政のエキスパート

ファイナンスとは、企業や個人、政府などの資金調達ならびにその管理を意味します。個人レベルでは年金や保険などを通じた生涯の生活設計、資産運用など、また企業における資金調達や資産運用などを、さらに財政政策・金融政策など、政府の政策にまで広範な領域にまたがります。近年マス・メディアでは「M&A（企業の合併買収）」、「年金問題」、「地方分権」といった言葉がよく話題にのぼります。このような出来事は私たちの生活面 — 資産運用や税金・年金のしくみ、あるいは公共サービスのありかた — の変化となって現れます。これらを与える影響を理解し、さらに個人の生涯にわたる資産運用、生活設計を考えるためには、金融や財政の基礎理論とその制度的な枠組みを理解し、その実際的な応用力を養うことが重要です。

このコースでは生活に密着した経済学の応用分野を学ぶことができます。将来、銀行・証券会社・保険会社、公共機関への就職を考えている人、またファイナンシャル・プランナーなどの資格取得をめざしている人にも向いています。

このコースでは、以下のような授業科目を中心に選択してください。

学科展開科目 学科関連科目	マクロ経済学 1・2、統計学、経済数学、計量経済学、経済データ分析、財政学、金融論、経済政策論、公共経済学、都市経済学、都市政策論、現代ファイナンス、国際金融論、地方財政論、社会保障論、商法、会社法、企業研究 1・2
------------------	--

C. グローバル経済コース：国際感覚豊かで、グローバルに活躍するビジネスパーソン

私たちは経済のグローバル化が進むなか生きています。とりわけ日本は貿易や資本取引を通じて世界各国と相互依存の関係にあり、日本経済で起こるさまざまな現象は世界経済との関連なしに語ることはできません。

このコースは、多様な世界経済のあり方に問題意識をもち、国際感覚あふれた人材を養成するために、国際貿易や国際金融の理論・制度を学ぶことを目的としています。また、このコースのもうひとつの目的は、どのような歴史をたどって経済社会がグローバル化してきたのか（時間的視点－経済史）、また世界各国の経済社会はどのように異なるのか（空間的視点－比較経済）という点を理解することです。

こうした基礎知識をもとに、例えば、日本の自動車産業は、なぜ強い国際競争力をもつのか、豊かな国とそうでない国に分かれるのはなぜか、アジアの経済発展はどのような道をたどってきたのか、といった問題を考えていきます。

将来広く世界を相手に仕事をしていきたいと考える人に最適なコースです。時代と空間を越えて視野を広げ、経済社会の多様性を学びたい人に勧めるコースです。

このコースでは、以下のような授業科目を中心に選択してください。

学科展開科目 学科関連科目	ミクロ経済学 1・2、マクロ経済学 1・2、計量経済学、経済データ分析、政治経済学、国際経済学、開発経済学、資源経済学、資源・エネルギー政策、環境経済学、エコロジー経済論、経済史、経済社会学、比較経済論、西洋経済史、欧米経済論、開発経済学、経済英語
------------------	--

D. 公共政策コース：各地域において政策を立案し施行することができるエキスパート

価値観の多様化の中で、地域経済にとって何が大切であり、必要であるのかを見極めること、またそれに応じた政策立案をすることは簡単ではありません。冷静な頭脳によって地域経済の抱える問題を洞察し、暖かい心でその改善案をつくることを学んでいてもらいたいと思います。一方で、政策立案をしても、それだけで世の中が良くなるわけではありません。世の中で役に立つ政策とは何か、経済学だけではなく、法律や政治の視点から学んでいけるようプログラムされています。

このコースでは、公共部門や NGO で活躍したい人材を養成するため、座学だけではなく、自ら実践することで将来に備える教育をおこなっていきます。

このコースでは、以下のような授業科目を中心に選択してください。

学科展開科目 学科関連科目	財政学、経済政策論、公共経済学、都市経済学、都市政策論、 地方財政論、社会保障論、法学概論、憲法、民法、行政法、行政学、 政治理論1・2、地域政策概論、まちづくり政策論、地域活性化研究1・ 2、公共政策演習1・2
------------------	---

4つのコース

将来の明確な目標のもと、
意欲的かつ効率的に学ぶ

卒業後の進路を意識し、必要な科目を効率的かつ着実に学ぶことができるよう、2年次から「企業経済」「公共政策」「金融ファイナンス」「グローバル経済」の4コースを設定し、また、教員をめざす学生のために、教職課程も用意するとともに、教職センターと連携したサポートを行っています。

企業経済コース

現代経済を理論的・実証的に分析できる
ビジネスパーソンになるなら!

- 主な専門科目
日本経済論 / 経済史 / 産業組織論 / 労働経済学 / 現代経済学
- モデル進路
企業のマーケティング・経営企画部門 / 大学院進学(研究者)
- 関連資格
ITパスポート試験 / 日商簿記検定 / ビジネス実務法務検定 / ERE経済学検定試験



法学概論
会社法、行政法
商法、民法

公共政策コース

地域において政策を立案し実行できる
エキスパートになるなら!

- 主な専門科目
憲法 / 公共経済学 / 政治理論1-2 / 地方財政論
- モデル進路
国や地方自治体の公務員 / NGOやNPOの職員
- 関連資格
宅地建物取引士 / 行政書士 / 公務員試験(国家・地方)



日本経済入門、経済史入門
政治経済学、経済英語
国際経済学入門

コア
科目群

公共政策演習1・2
財政学入門、財政学
経済政策論

グローバル経済コース

国際感覚豊かで、
グローバルに活躍したいなら!

- 主な専門科目
国際経済学 / 比較経済論 / 欧米経済論 / 環境経済学 / 資源経済学
- モデル進路
商社 / 外資系企業 / 企業の海外部門 / 国際エコノミスト
- 関連資格
旅行業務取扱管理者 / 通関士



データ表現技法
統計学入門
経済データ分析

金融ファイナンスコース

金融・財政の専門知識を駆使する
エキスパートを目指すなら!

- 主な専門科目
金融論 / 計量経済学 / 国際金融論 / 現代ファイナンス / 統計学
- モデル進路
銀行 / 証券 / 保険業界 / 経済アナリスト / トレーダー
- 関連資格
行政書士 / 証券外務員 / AFP資格



◎学びの流れ

	1年次	2年次	3年次	4年次
経済学を 学ぶ	少人数ゼミナール 基礎セミナー(1年次) / 専門基礎演習(2年次) / 専門演習(3・4年次)			
	基礎科目(学科基幹科目)	4つのコースを基本に応用科目(学科展開科目)		
	Eラーニング(経済学コア6)			
教養知識を 学ぶ	社会を知り世界を理解する (NGU教養スタンダード科目)		専門分野の関連領域を学ぶ (学科展開科目・学科関連科目)	
教育イベントを通じた 社会人力育成と スキルアップ	基礎セミナー発表会	経済学コア6コンペ		卒業研究発表会
	キャリアデザイン(1~3年次)・インターンシップ			大学院連携
	ICTスキル・企業連携プログラム(PBL授業) / 各種キャリア講座			